

” AGALA発！多世代交流プロジェクト” にボランティアとして参加 ～チーム箕島100%” 子どもの力で箕島復活！”～

11月12日(日)。吹き抜ける風は肌寒く、日向が恋しくなる秋空のもと、有田市社会福祉協議会／有田市ボランティアセンター主催、有田市教育委員会後援、「AGALA発！多世代交流プロジェクト」が開催されました。

「AGALA」(あがら)は、有田市社会福祉協議会が中心となって、「地域の子どもから高齢の方々まで、多世代の人たちが気軽に交流を図れる場所づくりを！」と、有田市の本町商店街に古い民家を改装して開かれた交流スポットです。地域のボランティアによって運営されています。

本年当初から、情報経営科：課題研究班が、和歌山大学観光学部とコラボして、社会福祉協議会の方々と一緒に、地域活性化のためのイベント企画に加わってきました。今後、地域の課題を見据え、地域の活動に参画していく力が育っていきってもらいたいです。

今回のイベントの合言葉は・・・

「箕島」の地で育った子どもたちが、自分の街を知る機会を持ち、異世代交流や協同からお互いを高めあい、箕島という地域が活力を得るきっかけに！若者たちが力を結集します。

10:30。イベントの開始です。オープニングに招待された本校の合唱部が、はつらつとした歌声を披露。会場は、いっぱいの手拍子で大変盛り上がりしました。

箕島中学校有志の生徒さんたちと、情報経営科：課題研究班が協力して「箕島マルシェ」と銘打って、カレーライスやみかんジュース、巻き寿司など箕島の特産品を販売しました。



「AGALA」でホットな飲み物を味わい、スワップラー、(オープニング：合唱部の様子です) お楽しみ抽選会など、皆さんイベントを楽しんでいました。



(情報経営学科と箕島中学校の皆さん)



(箕島マルシェ！開店です。)